



阿波人形浄瑠璃

万世不易 受け継がれる伝統

不易流行 伝統に宿る身体

令和7年
7月19日・20日

19日 開場 9時30分 開演 10時 閉演 17時
20日 開場 9時30分 開演 10時 閉演 17時40分

あわぎんホール 1Fホール
徳島県郷土文化会館

入場料 ※高校生以下入場無料 ※全席自由

1日券 1,000円

2日通し券 1,500円

Re-think

第79回夏期阿波人形浄瑠璃大会





圧倒的スベクタクル

人形浄瑠璃フェスティバル

阿波人形浄瑠璃公演

《永く、継承され、磨き抜かれた人形浄瑠璃》

徳島県内の人形座・人形団体・後継者団体19団体、5つの太夫部屋による古典作品の数々を上演。歴史大作を扱った「時代物」、江戸の世相や背景を物語にした「世話物」など、定番の演目から、この舞台でしか見られない演目まで珠玉の名作の数々を上演。受け継がれた伝統、研磨された技術、そして、300年を超える歴史を持つ阿波人形浄瑠璃の世界をご堪能ください。

出演団体

喜笑会、城北会、友輔会、友和嘉会、友成会
あわ工芸座、阿波十郎兵衛座、阿波木偶箱まわし保存会、
勝浦座、城北座、青年座、とくしま座、中村園太夫座、鳴門座、
ふれあい座、平成座、ボラリス座、名月座、寄井座
川内中学校民芸部、城北高校民芸部、平成座ジュニアクラブ、
川内北小学校人形浄瑠璃クラブ、寄井座ジュニア

義太夫節メドレー

《笑って、泣いて、唸る 名人達の至高の芸》

人形浄瑠璃の名作さわりメドレー集。徳島の名人達が集う。

乙女文楽

《女性のみに伝わる一人人形遣いの技芸》

大正14年大阪で誕生。うら若き乙女が1人で文楽人形を操る乙女文楽はとても人気があった。昭和の時代には戦争や座員の結婚等で消滅したが、平成に入り故土井順一氏により復活、伝統芸能乙女文楽を守り伝えて行く為、当初より人形を遣っていた吉田光子師匠を座長として乙女文楽座が結成された。

□ 乙女文楽とは

文楽の「三人遣い」で操る人形とほぼ同じ大きさの文楽人形を女性が1人で操ります。乙女文楽の「一人遣い」では「耳紐」で人形の頭を動かし、「背板」と「腕金」で人形の体を支え、遣い手と人形が一体となって演じる。

大駱駝艦 田村一行舞踏公演 『舞踏風土記 阿波木偶さま』

《大駱駝艦、その様式、 天賦典式にて人形浄瑠璃に臨む》

洗練された一挙手一投足、一振りの密度、そこには私が追い求める“踊り手”の姿があります。人形浄瑠璃を拝見すると「人間の体とは、何て簡単に動き過ぎてしまうものなのだ」と、自分の体の不自由さ、不用意さを痛感するのです。この度、おそれ多くも式三番叟はじめ阿波人形浄瑠璃とその風景を題材として作品を創作させていただきます。先の見えない芸の道の最中ではございますが、徳島の皆様が大切になさっているものを、私自身もまた大切にしたいと強く思う次第です。どうぞお見届け下さい。

だいらくだかん

大駱駝艦 鷹 赤児主宰。1972年創設。その様式を「天賦典式、(てんぷてんしき:この世に生まれ入ったことこそ大いなる才能とす)」と名付け、忘れ去られた「身振り・手振り」を採集・構築し、数多くの作品を生み出し国内外で活動を行っている。また鷹 赤児の考えである「一人一派」を実践し、多彩な舞踏グループ及び舞踏手を多数輩出し、様々な表現者に影響を与えている。

たむらいつこう

田村 一行 大駱駝艦舞踏手／振付・演出家

98年大駱駝艦入艦、鷹 赤児に師事。以降大駱駝艦全作品に出演。08年文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。日本各地の風土や文化を題材とした「舞踏風土記シリーズ」の創作にも意欲的に挑み、今日まで50本以上の作品を発表している。第34回舞踊批評家協会新人賞、第73回芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞受賞。

振付・演出・構成／田村一行 出演／(大駱駝艦)田村一行、
鉦久奈緒美、小田直哉、坂詰健太 特別出演／鶴澤友輔、寄井座
映像／Fusuma Karakuri Preservation Society

SANBASO

《天下泰平・国土安穩・子孫繁栄・五穀豊穡、 祈りを込めて三番叟を踏む》

古くから親しまれてきた三番叟を現代舞踊にて再現する。パフォーマーに、類似希なるダンスセンスを持つ香取直登、そして音楽に、日本の音を未来に繋ぐギタリスト・渥美幸裕が、子ども三番叟達を率いて颯爽と登場。

出演／三番叟：香取直登 ギター：渥美幸裕
子ども三番叟：あすなろバレエスタジオ

雷

《マーティン・ホルマン氏主宰・ 徳米座による新作公演》

医者の少ない田舎での荒稼ぎを目論んで旅に出た藪医者だが、俄かに空が掻き曇り轟く雷鳴と共に雷が目の前に落ちてくる。腰をしたたかに打ち付けた雷は目前の人間が医者であると知って治療を求める。頭で脈を取り、中風と診立てた藪医者は針を打ち、雷は針を怖がり大層に痛がるが腰の痛みは完治する。喜んで天に帰ろうとする雷に藪医者が治療代を請求するが、雷には持ち合わせが無い。藪医者が「日照りや水害が無いこと」を求めると、雷は「800年日照りや水害が無い様にする」と約して天に帰っていく。

□ 徳米座とは

徳米座は、アメリカ人のマーティン・ホルマンが主宰する人形浄瑠璃の劇団。マーティンは、日本文学と演劇の元大学教授で、2017年に徳島へ移住し徳米座を設立。子どもから大人まで、日本人も外国人もいっしょに日本の伝統的な人形芝居を上演している。

19日 土

10:00－10:10	オープニング三番叟	太夫：宮崎照美、竹内雅代、城北高校民芸部 三味線：鶴澤友丸、池尻清香、城北高校民芸部 人形：青年座、ボラリス座、城北座、城北高校民芸部
10:20－10:40	傾城阿波鳴門 順礼歌の段	太夫・三味線・人形：城北高校民芸部
10:50－11:40	新版歌祭文 野崎村の段	太夫：後藤としこ 三味線：鶴澤友輔 ツレ：後藤としこ 人形：あわ工芸座
11:50－12:50	鎌倉三代記 絹川村の段	太夫：大橋后代 三味線：竹本友和嘉 人形：勝浦座
13:00－13:25	傾城阿波鳴門 順礼歌の段	太夫：宮崎照美 三味線：鶴澤友丸 人形：城北座
13:35－14:00	義太夫節メドレー	太夫・三味線：友輔会、友成会
14:10－14:35	雷	(語り)医師役：猪尾優子、雷様役：永浜浩幸 人形：徳米座
14:45－15:25	大駱駝艦 田村一行舞踏公演『舞踏風土記 阿波木偶さま』	出演：(大駱駝艦)田村一行、鉾久奈緒美、小田直哉、坂詰健太 特別出演：鶴澤友輔、寄井座
15:35－16:00	壺坂観音霊驗記 沢市内の段	太夫：長野紫寿 三味線：竹本友和嘉 人形：ふれあい座
16:10－17:00	一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段	太夫：竹本友廣 三味線：鶴澤友輔 人形：中村園太夫座

20日 日

10:00－10:15	寿二人三番叟(揉の段から鈴の段)	人形：とくしま座
10:20－10:40	傾城阿波鳴門 順礼歌の段	太夫：竹本友幸、辻本光麗 三味線：鶴澤友春 人形：平成座ジュニアクラブ、川内北小学校人形浄瑠璃クラブ
10:50－11:20	傾城阿波の鳴門 十郎兵衛内の段	太夫：竹本友幸 三味線：鶴澤友春 人形：平成座
11:30－11:55	義太夫節メドレー	太夫・三味線：喜笑会、友和嘉会
12:05－12:20	SANBASO	渥美幸裕、香取直登、あすなろバレエスタジオ
12:30－12:45	えびす舞	人形：阿波十郎兵衛座
12:55－13:05	阿波木偶「三番叟まわし」	阿波木偶箱まわし保存会
13:15－13:35	傾城阿波鳴門 順礼歌の段	太夫：久次米三枝子 三味線：鶴澤友丸 人形：川内中学校民芸部
13:45－14:10	恋女房染分手綱 重の井子別れの段	太夫：吉本藍玉 三味線：竹本友和嘉 人形：鳴門座
14:20－14:50	傾城阿波鳴門 順礼歌の段	太夫：新居和昇 三味線：豊澤町若 人形：乙女文楽
15:00－15:40	大駱駝艦 田村一行舞踏公演『舞踏風土記 阿波木偶さま』	出演：(大駱駝艦)田村一行、鉾久奈緒美、小田直哉、坂詰健太 特別出演：鶴澤友輔、寄井座
15:50－16:00	えびす舞	人形：寄井座ジュニア
16:10－16:40	傾城阿波鳴門 順礼歌の段	太夫：澤田芽衣 三味線：竹本友和嘉 人形：名月座
16:50－17:40	絵本太功記 尼ヶ崎の段	太夫：宮崎照美、藤井登美昇 三味線：鶴澤友丸、竹本友和嘉 人形：寄井座

ご案内

●1日券、2日通し券ともに再入場は可能です。●徳島県内の選りすぐり品を集めた「徳島じょうりショップ」が出店する予定です。●「阿波人形浄瑠璃公演」、「義太夫節メドレー」、「雷」、「乙女文楽」については、写真・動画撮影可。フラッシュ等はご遠慮ください。●タイムテーブルは目安です。進行に大幅なズレが生じる可能性がありますのでご注意ください。●高校生以下の方は当日身分を証明できるものをご持参ください。

プレイガイド

あわぎんホール (WEB・窓口・電話)

※高校生以下は入場無料です。チケットはございませんので、身分を証明できるものをご持参の上、直接会場にお越しください。※あわぎんホール窓口は会館南側新町川沿いの1階にあります。※車いす席をご利用のお客様は、お問い合わせください。

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 (窓口・電話)

お問い合わせ

あわぎんホール (徳島県郷土文化会館) Tel:088-622-8121 E-mail: jigyo@kyoubun.or.jp

※あわぎんホールの休館日[7月9日(水)]は、窓口・電話による販売はありません。

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 Tel:088-665-2202 ※7月17日(木)、7月18日(金) 休館日



アクセス ■徳島駅より徒歩8分 ■徳島ICより車で20分 ■徳島空港より空港連絡バスで30分、徳島駅より8分

主催：公益財団法人徳島県文化振興財団、公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会、一般社団法人徳島新聞社
協力：あすなろバレエスタジオ
後援：四国放送株式会社、株式会社エフエム徳島

